

暁木会会員 各位

平成 17 年 9 月

神戸大学暁木会

平素は、暁木会活動にご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、このたびの暁木会ニュース第9号では、事務局から「暁木会平成16年度総会」、「年会費納入のお願い」、「暁木会各支部総会」、「川谷先生・北村先生の定年退職記念祝賀会」、「松下神戸市助役の土木学会関西支部長就任」のお知らせを、大学から土木教室主任の朝倉康夫教授に「神戸大学と土木教室の近況」を報告して戴きました。

不十分な点多々あることと思いますが、ご容赦をお願いしますとともに、ご意見等がございましたら、事務局までご連絡くださいますようお願い致します。

平成17年度の暁木会役員は、つぎのとおり改選されました（新旧併記）。

役名	平成16年度	平成17年度	備考
会長	本下 稔 ⑮ (協和設計㈱)	田中 稔 ⑰ (神戸市建設局)	新任
副会長	水池 由博 ⑳ (神戸市建設局)	水池 由博 ⑳ (神戸市建設局)	留任
副会長	岩田 修三 ㉒ (兵庫県県土整備部)	室井 敏和 ㉓ (三井住友建設㈱)	新任
KTC 副理事長	池野 誓男 ⑫ (日本建設コンサルタント㈱)	池野 誓男 ⑫ (日本建設コンサルタント㈱)	留任
KTC 理事	松下 緯宏 ⑬ (神戸市)	松下 緯宏 ⑬ (神戸市)	留任
KTC 理事	梶谷 義昭 ⑮ (エヌ・ティ・ティ・インフラネット㈱)	梶谷 義昭 ⑮ (エヌ・ティ・ティ・インフラネット㈱)	留任
常任 幹事	尾原 勉 ㉑ (兵庫県県土整備部)	尾原 勉 ㉑ (兵庫県県土整備部)	留任
常任 幹事	油井 洋明 ㉔ (神戸市都市計画総局)	坪本 正彦 ㉙ (協和設計㈱)	新任
会計 幹事	坪本 正彦 ㉙ (協和設計㈱)	浜村 吉昭 ㉚ (神戸市建設局)	新任

## 1. 暁木会平成16年度総会について

開催日時：平成17年3月24日（木）

場 所：楠公会館

出席者数：来賓；西勝名誉教授他16名、卒業生及び修了生；82名、正会員；55名、支部代表；4名、合計；158名

議 案：

### (1) 会務報告

平成16年度暁木会行事及び会員数の動向、物故者の報告を行い、承認されました。

平成17年4月1日現在の会員数

卒業・修了者 4,003名  
物故者 696名  
会員数 3,307名

### (2) 役員改選

暁木会の役員は、本下会長、岩田副会長が任期満了に伴い退任し、田中会長、室井副会長が就任しました。また、KTC役員につきましては、今年度は改選がありません。

### (3) 会計報告

平成16年度各会計決算(案)及び平成17年度各会計予算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

※ 神戸大学の近況報告並びに平成16年度卒業生および修了生の進路が紹介され、総会に引き続いて、新会員の歓迎を兼ねて懇親会を開催しました。なお、平成16年度より、暁木会ならびにKTCにおいて、優秀学生を表彰し記念品を贈呈することになりました。

平成16年度は以下の2名が表彰されました。

暁木会会長賞 ; 杉田美紗子  
KTC理事長賞 ; 新谷 正樹

【新会長挨拶】

この度、皆様のご推挙によりまして、伝統ある暁木会の会長にご選任いただきましたことは、身に余る光栄でございます。

この春には、会員数 3,300 人を超える同窓会になりました。これまで、暁木会の発展にご尽力をいただきました歴代役員の方々に敬意を表しますとともに、今後とも会員の皆様方のご支援、ご指導を賜りまして、暁木会のさらなる活性化に向けて、精一杯努力して参りたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いたします。

さて、この暁木会は、神戸大学の土木系の教官と卒業生が集まり、母校の発展に寄与し、あわせて学術研鑽ならびに会員相互の親睦を図ることを目的にしております。これまでも種々の活動が実施されてきたところでございます。

これまでの活動を継続しつつ、この暁木会を、同じく学んだ者同士が、職域、年齢を越え、自由に意見交換、情報交換ができる場となるように進めていきたいと考えています。

その第一歩として、現在、ホームページの作成に取り組んでいます。これまでの事業活動では、若年層の方々の参画があまり得られませんでした。このホームページを活用して会の運営や事業活動に積極的に参画いただき、暁木会がさらに活性化することを期待しております。

また、大学と暁木会の連携強化を目的として、昨年度から意見交換会を開催しております。それぞれの活動状況の報告や学生の研究内容、就職状況、またカリキュラムの内容など多岐に亘る案件について意見交換を行っております。今後、会員の皆様方にもご協力をお願いする場面があると思っておりますが、よろしくお願申し上げます。

最後になりましたが、この度任期満了で退任された本下会長、岩田副会長におかれましては、暁木会のためにご尽力をいただき、数々の業績を残されたことに、心から感謝申し上げます。

暁木会事務局；会計幹事 浜村吉昭 ㉓  
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1  
神戸市建設局道路部工務課  
Tel；078-322-5432、Fax；078-391-7773  
E-mail；yoshiaki\_hamamura@office.city.kobe.jp

2. 暁木会年会費納入のお願い

平成 15 年度から導入いたしました年会費につきましては、昨年度は 847 名の会員各位にご理解とご協力をいただきました。本誌をもってお礼を申し上げます。

しかしながら、暁木会の安定した運営を行うためには未だ十分ではありません。現在、クラス幹事や各職場の世話人を通じて会費納入の依頼を行っているところです。会費納入の手続きが未了の会員各位には、引き続きご理解とご協力お願い致します。

なお、手続き等に関する問合せは事務局までお願い致します。

※ 年会費の集金方法につきまして、現在、集金代行業者（UFJニコス株式会社）に委託し、会員の指定金融機関から年 1 回の自動引落しの制度を採用いたしております。

これは、会費収入の安定化や、集金コストの縮減を目的として採用したのですが、この制度について、各方面から色々な意見を頂戴しています。

役員会でもこの集金方法について議論を行っているところです。もうしばらくの間、この制度を継続し、改善すべきところは改善してまいりたいと思っておりますので、会員の皆様方のご意見を、前記事務局までお願いいたします。

3. 暁木会支部総会について

(1) 暁木会東京支部総会

(平成 17 年 6 月 17 日、於；グランドヒル市ヶ谷)

- ①出席者；梶支部長 他 54 名  
本部より田中会長が出席
- ②来賓；道奥康治教授
- ③役員改選；支部長 梶 太郎<sup>⑰</sup>→左中規夫<sup>⑱</sup>  
副支部長 池田正和<sup>⑲</sup>→山下正章<sup>⑳</sup>

(2) 暁木会広島支部総会

(平成 17 年 7 月 15 日、於；KKR広島)

- ①出席者；二神支部長 他 10 名  
本部より室井副会長が出席
- ②来賓；朝倉康夫教授
- ③役員改選；改選なし  
支部長 二神種弘<sup>㉑</sup>

(3) 暁木会東海支部総会

(平成 17 年 7 月 27 日、於 ; 「百楽」名古屋店)

- ①出席者 ; 徳倉支部長 他 16 名  
本部より水池副会長が出席
- ②来 賓 ; 中山昭彦教授
- ③役員改選 ; 支部長 徳倉哲夫<sup>⑰</sup>→佐藤仁之<sup>⑱</sup>  
副支部長 佐藤仁之<sup>⑱</sup>→細見孝治<sup>⑲</sup>

(4) 暁木会岡山支部総会

(10 月末頃に開催予定)

- 支部長 吉井節夫<sup>⑳</sup>
- 副支部長 西垣 誠<sup>㉑</sup>

4. 川谷先生・北村先生定年退職について

都市安全研究センター 川谷 健教授ならびに工学部建設学科 北村泰寿教授におかれましては、平成 17 年 3 月 31 日をもちまして、神戸大学を定年退職されました。



川谷先生からお礼の言葉



小林奈央様 (CO5) から北村先生へ花束の贈呈

川谷先生におかれましては 33 年、北村先生におかれましては 38 年の長きにわたり、神戸大学において研究・教育さらに学会・社会において多大の貢献をされてまいりました。

このような両先生のご活躍とご功績を称えとともに、お世話になった者が感謝の意を表すべく、去る平成 17 年 5 月 28 日、相樂園において両研究室の卒業生が中心となり、記念祝賀会が開催されました。

祝賀会の報告等の詳細は、K T C 機関誌の本文をご覧ください。

5. 松下緯宏神戸市助役

土木学会関西支部長就任について

平成 17 年 5 月 10 日、土木学会関西支部の通常総会において、新支部長に松下緯宏神戸市助役（新制 13 回生）が選出されました。

土木学会関西支部は、80 年近くの歴史と伝統を有し、土木技術に関する学究と幅広い社会活動を通じて、国土や市民社会へ大きな貢献をいたしております。

この様な関西支部の支部長職は重責であると同時に大変名誉ある職であります。支部長職に暁木会出身者が就任するのは、関西支部の長い歴史の中で初めてのことであり、会員一同としても大変嬉しく誇りに思うところです。

【支部長就任挨拶】

伝統ある関西支部の支部長に選ばれ重責を感じています。これからの土木を考えると、地震や台風などの自然災害の経験から、土木が安全、安心なまちづくりに果たす役割は大きいものがあるということを広く発信していく必要があると思います。

しかし一方で、公共事業に対する風当たりが厳しいなか、「産学民官」の色々な分野の皆様と連携を深めながら、知恵を出し合って引き続き社会的に有益な資産を提供していかなければならないと考えています。

また、土木技術者の育成や、一般の方々に対しての土木への理解を深めてもらうような取り組みも重要です。土木技術の伝承や土木の魅力の発信・啓発のみならず、色々な分野の方々とのコミュニケーションを図ることが大切だと思います。

そのためにも、暁木会会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

## 6. 神戸大学と土木教室の近況

平成 17 年度教室主任 朝倉康夫

土木系教室では、3 月末に定年の定めにより、北村泰寿教授と川谷健教授の 2 名の先生が退職されました。両先生とも長年にわたり土木系教室における教育と研究に多大なご尽力をいただいております、多数の優秀な学生を育てていただきました。5 月 28 日には、暁木会の絶大なるサポートにより、両先生のお祝いパーティを開催することができました。ここに改めて感謝いたします。

一方、4 月 1 日付けで飯塚敦助教授が教授に、7 月 1 日付けで森川英典助教授が教授に昇任されました。言うまでもなく、お二人とも研究能力がきわめて高く、そして何よりも学生の面倒見のよい方であり、今後の土木系教室の教育・研究がますます活性化することが期待されます。

教育面ではやや遅ればせながら、大学教育の ISO ともいえる JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education, 日本技術者教育認定機構) による教育プログラム認定への準備を進めています。プログラムが認定されると、それを履修した卒業生には技術士補の資格が与えられる等というメリットがあります。土木学会認定技術者資格制度をはじめ、複数の資格制度の創設や改革が同時に動いているため、ややわかりにくい面もありますが、学生諸兄には「いつかは役に立つ」と説明し、勉強するように励ましています。

学部教育が重要なことは言うまでもありませんが、教育面でも研究面でも大学院の充実が求められています。博士前期課程（マスターコース）では、昨年度から他大学出身者対象の推薦入試を実施し、全国の優秀な学生に来ていただけるよう門戸を広げました。博士後期課程（ドクターコース）では、3 年の在学期間を短縮して学位を取得できる早期修了、企業や官庁にお勤めのまま履修できるシステム、経済面でのサポートなどの体制を充実させています。母校での学位取得について、是非ともご検討くださいますようお願いいたします。

就職状況に関しては、大手企業についてはほぼ順調な状況を保っていますが、まだまだ迷っている学生も多く、卒業生の皆様の多大なるご支援をここにお願い申し上げます。

大学と暁木会との連携については、昨年度から 2 回にわたり、暁木会会長をはじめ役員・事務局の方々に大学までご足労いただき、新たな連携の方策に関する検討を始めました。大学から暁木会へのお願いばかりでなく、暁木会から大学へのリクエストを承り、より開かれた大学、社会に貢献できる大学に向けて努力を続けていくことが必要であると感じております。あらゆるチャンネルを通じて、卒業生の方々からのご意見を賜りたいと存じます。

暁木会の方々の活動を紹介する一方で、高校生や一般市民の方に土木工学を理解いただく意味もあって、教室のホームページに「活躍する卒業生」のページ <http://www2.kobe-u.ac.jp/~cedwww/graduates/index.html> を作らせていただきました。この 6 月から運用開始したばかりですので、まだ 2 名の方をご紹介しますにとどまっていますが、今後、多くの卒業生の方にご登場いただき、このページを充実・活性化させたいと考えております。

現在の土木系教室（自然科学研究科および都市安全研究センターの関連部門を含む）の教員構成は以下の通りとなっております（平成 17 年 7 月 1 日現在）。

	教授	助教授	助手
構造	高田 至郎 川谷 充郎 森川 英典	芥川 真一	野村 泰稔* 欽田 泰子
水工	中山 昭彦* 道奥 康治 藤田 一郎	宮本 仁志	神吉 和夫 齋藤 雅彦# J.ブリッカー*
地盤	沖村 孝# 田中 泰雄# 澁谷 啓 飯塚 敦#	吉田 信之# 加藤 正司	鳥居 宣之# 上西 幸司# 河井 克之
計画	黒田 勝彦 朝倉 康夫*	富田 安夫* 竹林 幹雄	井料 隆雅 長江 剛志*

\*) 自然科学研究科所属, #) 都市安全研究センター所属